

令和7年6月25日

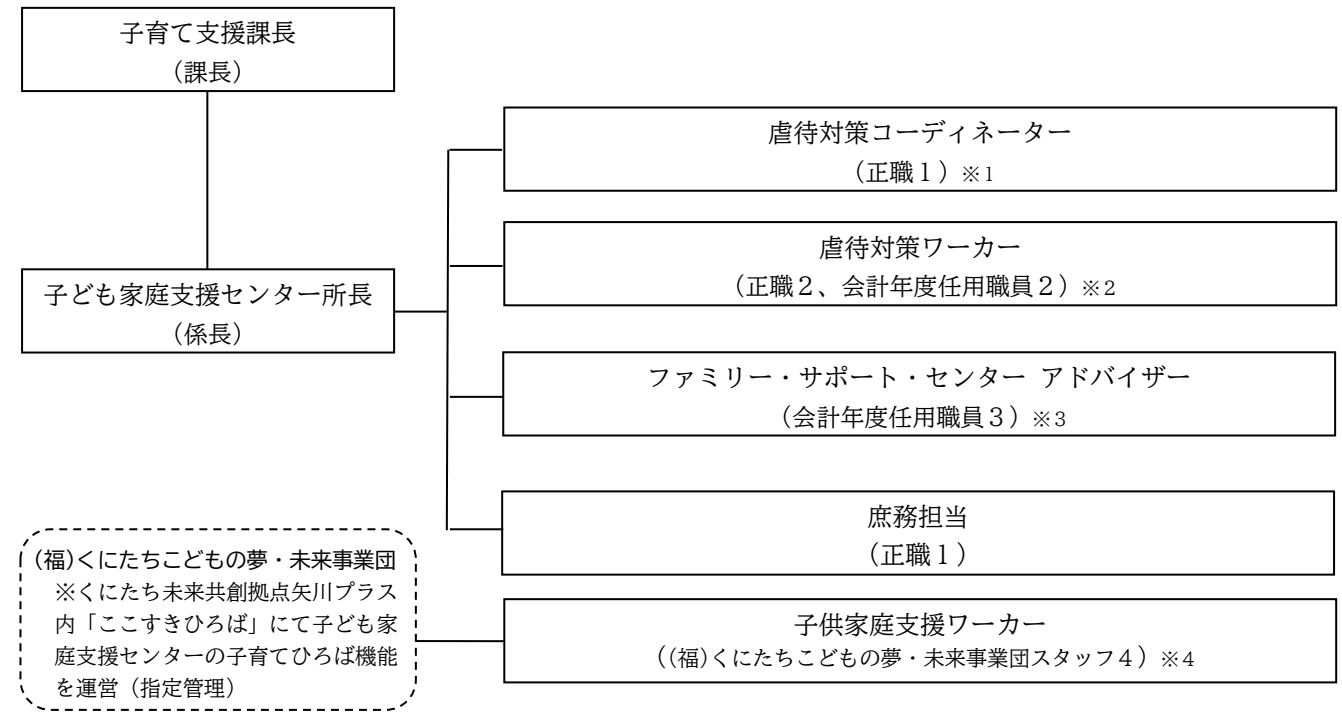
令和6年度 国立市子ども家庭支援センター 事業実績

国 立 市
子ども家庭支援センター

1. 国立市の概況(令和7年4月1日現在)

面積	8.15 [㌔] 平方メートル	保育所等	20か所	民生委員・児童委員	42名
世帯数	39,969世帯	幼稚園	8園	主任児童委員	4名
人口	76,163人	公立小学校	8校		
児童数	10,083人	公立中学校	3校		

2. 職員体制



(令和7年4月1日現在)

- ※1 虐待対策コーディネーターは、子供家庭支援センター内でのケースの進行管理等の調整及び関係機関との連携等を行う。
- ※2 虐待対策ワーカーは、虐待相談や虐待が認められる家庭等への相談支援、児童相談所、保健所、保健センターなど他機関等との連携及び調整等を行う。
- ※3 ファミリー・サポート・センター アドバイザーは、利用会員・支援会員の募集、会員組織業務、講習会や交流会の開催、相互援助活動の調整等の事務を行う。
- ※4 子供家庭支援ワーカーは、総合相談や子供家庭在宅サービスや養育支援訪問事業の提供・調整、養育家庭制度に関する情報提供及び児童相談所等との連携等を行う。子ども家庭支援センターの虐待ワーカーのうち2人は子ども家庭支援ワーカー及び地域活動ワーカー(※5)を兼務。ここすきひろばスタッフのうち2人は地域活動ワーカーを、2人は専門相談員(※6)を兼務。
- ※5 地域活動ワーカーは、地域組織化事業(地域グループの活動支援やボランティアの育成等)を担当する。
- ※6 専門相談員は、保健、医療、法律、教育等の専門分野に係る利用者からの相談に応じる。

3. 事業内容

(1) 総合相談事業

18歳未満のお子さんとその家庭に関するあらゆる相談をお受けします。お子さんご自身からの相談にも対応します。身近な子育ての悩みから虐待などの深刻なケースまで総合的に対応します。

(2) 子育てひろば事業

子育て中のご家庭が気軽に集える場所を提供し、子育て中の親子が相互交流をしたりスタッフに気軽に相談をすることができます。また、さまざまな講座の開催や、情報誌の発行をしています。

【実施場所：くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」】

(3) 子育て講座及び子育てグループ育成・支援事業

地域における子育てサークル、同月齢児のグループ等の活動支援やボランティアの育成を行っています。また、子どもの年齢別や地域向けの講座を開催しています。

【実施場所：くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」】

(4) 子どもショートステイ事業

保護者が病気や出産、家族の介護、育児疲れ、冠婚葬祭等の理由で、一時的に子どもを養育することが困難になったとき、市内の施設で宿泊または日帰りにより、お子さんを預かります。

【委託先：（公財）生長の家社会事業団 施設名：ショートステイホーム「おひさま」】

(5) 一時保育支援事業

保護者の短時間の就労や病気、リフレッシュなどで一時的にお子さんに保育が必要なときに、保育園でお預かりします。

【実施場所：国立あゆみ保育園、国立保育園】

(6) 育児支援サポーター派遣事業

産前産後のご家庭等にサポーターを派遣して、育児や家事をお手伝いします。

(7) 養育支援ホームヘルパー派遣事業

養育支援を特に必要とするご家庭等に、市が事業を委託した事業所からホームヘルパーを派遣して、育児や家事をお手伝いします。

【委託先：①生活協同組合・東京高齢協 ②NPO法人ゆいまーる】

(8) ファミリー・サポート・センター事業

地域の子育ての助け合いを行う会員制の事業です。子育てのお手伝いをしてほしい方に支援（サポート）したい方を紹介し、お子さんの保育施設等への送迎や一時預かりを行います。

(9) 子ども家庭支援ネットワーク連絡会（要保護児童対策地域協議会）

虐待の防止や通告などに対応します。また、子どもと家庭を総合的に支援するために、関係機関とネットワークを作り対応しています。

(10) 養育家庭制度の普及・啓発事業

養育家庭の拡充のため、都と協力して養育家庭体験発表会を開催するなど養育家庭制度の普及・啓発活動を行っています。

(11) 子ども家庭支援センター運営協議会

センターの運営その他必要な事項を協議するため、市民・民間団体及び関係行政機関等を構成者とした運営協議会を設置しています。本協議会では、センターの基本的な活動内容及び運営方法について協議します。

(12) 地域子育て支援拠点事業

子育て中の家庭が、気軽に集い交流や育児相談・情報提供を受けることができる場を設置します。

【委託先：NPO法人くにたち農園の会 事業名：つちのこひろば】

(13) その他

4. 国立市子ども家庭支援センターの沿革

平成15年 8月	子ども家庭支援センター事業開始
11月	子ども家庭支援センター運営協議会第1回会議開催
12月	産後支援サポーター派遣事業開始 (平成20年6月育児支援サポーター派遣事業に名称変更)
平成16年11月	ファミリー・サポート・センター事業開始
平成20年 2月	子ども家庭支援ネットワーク連絡会(要保護児童対策地域協議会) 第1回代表者会議開催
6月	「従来型子ども家庭支援センター」から「先駆型子ども家庭支援センター」へ移行
平成23年10月	子どもショートステイ事業開始
平成24年 4月	虐待対策コーディネーターを配置
平成28年 4月	虐待対策ワーカー1名増員
平成28年 9月	子どもショートステイ日帰り型導入
令和 5年 4月	子育てひろばはくにたち未来共創拠点矢川プラスへ、子育てひろば以外は市役所本庁舎に機能移転
令和 5年10月	養育支援ホームヘルパー派遣事業開始

5. 令和6年度事業実績

(1) 総合相談事業

<相談受理件数>

(件)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
養護相談	453	369	373	326	350
保健相談	0	0	0	3	0
障害相談	0	5	8	6	2
非行相談	2	1	0	3	1
育成相談	148	41	35	47	24
その他相談	4	4	0	3	0
問合せ等	302	298	249	286	305
合 計	909	718	665	674	682

(2) 子育てひろば事業

【実施場所：くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」】

<子育てひろば事業 矢川プラス「ここすきひろば」>

多世代がつながり育ちあう環境づくりを進め、相談機能や子育て支援機能を備える、まちに開かれた子育てひろばを運営。

開所日数(日)	延人数(人)	内容
308	27,200	木曜日、年末年始以外開所

<ヤクルト共同事業>

子育てひろばで、乳幼児とその保護者を対象に、手遊びや読み聞かせなどの親子で楽しめる「ヤクルトミニお楽しみ会」を月1回開催。7月は兵庫県の工場とのオンラインでの交流「ヤクルト工場オンライン見学ツアー」を実施した。8月は親子で健康について学べるイベント「おなか元気教室」を実施した。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数 (人)	24	29	49	128	14	22	33	中止	25	26	中止	28	378

<ほっとひろば>

普段のひろばでは、お子さんの動きが気になり利用が難しい親子に安心して過ごしてもらうことを目的に開催。9月より開催。

実施月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数 (人)	4	6	7	4	5	3	1	30

<プレママ・プレパパひろば>

出産前からひろばに来ることにより、産後のスムーズな来所を図る。地域で同じ時期に出産を迎える家族がつながることにより、情報交換や周産期の不安を解消することを目的として開催。育児支援サポーター派遣事業などの地域資源も紹介。

開催月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
参加人数 (人)	3	4	3	0	9	19

<助産師相談>

気軽に集える子育てひろばで助産師から専門的な助言を受け、保護者が子どもの状況を見極め、親として成長していく力をつかむことができるよう支援する助産師相談を月に1回実施。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数 (人)	9	8	11	-	6	12	9	10	6	6	8	-	85

<臨床心理士相談>

身近な子育てひろばで臨床心理士が子育ての悩みや不安等の相談に乗ることで、保護者が問題を整理し自身の育児を振り返ることができ、必要な支援に繋がったり、エンパワーメントできるよう支援する臨床心理士相談を月に1回実施。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数 (人)	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22

<子育て用品リサイクル・リンク事業>

子育て環境の充実を図ることを目的に、家庭で着られなくなった子ども服を提供してもらい、必要な方へ無償で提供する事業。

利用延人数：1,296名 実施場所：矢川プラス・中央児童館・西児童館・つちのこひろば

<子育て情報提供事業>

矢川プラス通信、矢川プラスホームページ、Instagram等に情報を掲載し市民へ周知。

※子ども家庭支援センターにおいても、『一人でがんばらないで』『市内・市外一時保育サービスの紹介』『園庭開放』を発行し、関係機関にて配布。また国立市ホームページ、子育てアプリ等に情報を掲載し市民へ周知。

(3) 子育て講座及び子育てグループ育成・支援事業

【実施場所：くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」】

<子育て講座・子育て講演会>

開催月	講座名	対象者	参加人数（人）
9月	ベビトレヨガ	子育て中の保護者	12
11月	産後ママのための骨盤ケア	生後2か月～6か月の母親とその子ども	17
合計			29

<抱っこひもミニ講座>

理学療法士に、簡単な講話と実際の抱っこひもの装着状況の確認をしていただき、より安全で身体に負担のない装着方法を学ぶ講座を開催。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数（人）	3	4	3	7	7	4	4	4	8	6	8	5	63

※1回3組の定員制で1日2回開催。

<安全講座>

防災安全課や国立市消防団女性団員を講師に、防災や安全に関する知識を子育て世代の保護者に伝えるミニ講座。

開催月	6月	9月	11月	1月	2月	合計
参加人数（人）	14	20	21	15	21	91

<栄養士ミニ講座>

子ども保健・発達支援係の管理栄養士を講師に、離乳食や食事について学び、質問できるミニ講座を開催。

開催月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
対象	完了期 (生後11か月過ぎの 子どもの保護者)	離乳食後期 (生後7か月過ぎの 子どもの保護者)	完了期 (生後11か月過ぎの 子どもの保護者)	離乳食後期 (生後7か月過ぎの 子どもの保護者)	完了期 (生後11か月過ぎの 子どもの保護者)	
テーマ	モリモリ幼児食	パクパク3回食	モリモリ幼児食	パクパク3回食	モリモリ幼児食	
参加人数（人）	21	15	8	17	20	

<パパ講座（ぱぱラダイス）>

育児に関する講座や座談会を行い、父親の子育てと仲間づくりを支援。

開催月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数（人）	17	23	27	25	20	11	21	26	11	21	23	225

<ふたご交流会>

多胎児の親子・妊婦に参加を呼びかけ、交流を支援。（市外在住者含む）

開催月	4月	6月	9月	11月	1月	3月	合計
参加人数（人）	4	7	13	6	7	3	40

<月齢グループ>

生後5か月～6か月の子どもと保護者を対象に、月齢毎のグループ作りと活動を支援。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
参加人数 (人)	15	20	12	21	23	29	23	29	20	12	15	17	236

<ここすき！1歳あつまれ>

1歳児の子どもとその保護者の、乳幼児期からの子育て、子育てを応援することを目的とする。

開催月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数 (人)	32	39	28	-	37	17	24	17	16	14	7	231

<NPプログラム（ノーバディズ・パーフェクト・プログラム）>（親子関係形成支援事業）

ファシリテーターの進行により、参加者が話したいことを出し合い、共に考える。日々の子育てを振り返り整理したり、共感し合う中で、互いの育児から学ぶ。各期全6回。

	I期	II期	合計
開催月	4月～5月	10月～11月	
開催回数	全6回	全6回	
参加人数	7組（託児7人）	9組（託児8人）	16組（託児15人）

<FSプログラム>（親子関係形成支援事業）

生後2から5か月までの第一子とその母親のための講座。体や生活での変化の大きい周産期の予防的プログラム。

	1期	2期	3期	4期	合計
開催月	6月	9月	11月～12月	2月～3月	
開催回数	全4回	全4回	全4回	全4回	
参加人数 (人)	10	14	10	10	44

<子育てボランティア育成と交流>

子育て中のママをサポートする先輩ママ「ピアママ」の活動をさらに拡大し、「ピアファミリー」として再スタート。多様な年代、属性のボランティアグループとする。登録は23人。毎月の活動の中でひろばのおもちゃを製作。その他、シニア世代のボランティア活動や、折り紙制作などの個人のボランティア活動も継続。

<地域グループ>

市内各地で自主的に活動している地域グループに対し支援。

※<子ども家庭支援センター主催の子育て講座（保育付講座）>

開催月	講座名	対象	参加 延人数	保育 延人数
5月～ 6月	「CARE（ケア）に学ぶ～子どもとのよりよい関係を築くために～」 【連続3回講座】	子育て中の大人又は子どもと接する機会のある大人（子どもの年齢が2歳以上で言葉でのコミュニケーションが可能、3回とも参加できる方）	35	18

(4) 子どもショートステイ事業

(委託先：(公財)生長の家社会事業団 施設名：ショートステイホーム「おひさま」)

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用 延人数	宿泊(人)	147	145	169	280	207
	日帰り(人)	386	158	27	205	424

(5) 一時保育事業(実施園：国立あゆみ保育園、国立保育園)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一日利用延人数(人)	1,712	2,039	1,570	2,404	2,121
半日利用延人数(人)	382	464	468	462	416
合計	2,094	2,503	2,038	2,866	2,537

※令和4年4月から、国立ひまわり保育園から国立保育園に事業移行。

(6) 育児支援サポーター派遣事業

<サポーター登録者数、依頼者数および活動回数>

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サポーター登録数(人)	105	116	129	137	104
派遣申請者数(人)	60(4)	62(5)	80(7)	93(4)	126(3)
活動回数(回)	145(32)	336(169)	377(145)	440(99)	486(203)

※()内は要支援家庭

<育児支援サポーター研修会>

開催月	日数(日)	参加人数(人)	内容
7月	4	16	産前産後の母との関わり、栄養と食生活、助産師による 講話、沐浴実習、サポーター体験報告 等
11月	4	12	

※令和4年度からファミリー・サポート・センター支援会員研修会と合同開催。

<育児支援サポーターフォローアップ講習会>

開催日：令和7年2月4日

内 容：「サポートを安全に安心して行うために知っておきたいこと」

受講者：11人

(7) 養育支援ホームヘルパー派遣事業

<委託事業所数、対象世帯数および派遣日数>

年度	令和5年度	令和6年度
委託事業所(か所)	2	2
対象世帯(世帯)	3	2
派遣日数(日)	23	52

※令和5年9月より制度開始。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

<会員数および活動状況>

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数	支援会員(人)	195	203	209	214	228
	利用会員(人)	1,076	1,149	1,121	1,224	1,244
	両方会員(人)	18	19	20	21	14
活動	活動件数(件)	1,483	1,684	2,378	2,560	2,944
	延べ時間(時間)	2,190	2,484	3,216	3,168	5,086

※令和2年4月より、利用児童の対象年齢を「10歳まで」から「12歳まで」に引き上げ。

<ファミリー・サポート・センター支援会員研修会>

開催月	日数(日)	参加人数(人)	内容
7月	4	16	乳児期から学童期までの保育、預かるときの配慮、子どもの発達と遊び、応急救護、会員体験報告 等
11月	4	11	

※令和4年度から育児支援サポーター講習会と合同開催。

<ファミリー・サポート・センター支援会員・利用会員交流会>

開催日：令和6年9月12日

内 容：「健康と生活に役立つかんたんアロマセラピーのおはなし」

参加者：15人

<ファミリー・サポート・センター広報活動>

6月と1月に会員情報誌「うめちゃんだより」を発行し、ファミリー・サポート・センター事業の活動状況や予定について会員に周知。

(9) 子ども家庭支援ネットワーク連絡会(要保護児童対策地域協議会)

<児童虐待対応状況>

(件)

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	虐待対応件数	189	269	284	354	353
	新規	114(7)	177(21)	171(23)	203(26)	216(10)
	前年度から継続	75	92	113	151	137
種別	身体的	53	75	81	101	107
	心理的	111	158	170	216	207
	性的	2	1	0	1	3
	ネグレクト	23	35	33	36	36
	その他	0	0	0	0	0
年齢別	未就学児	75	116	125	142	127
	小学生	81	108	112	155	157
	中学生	21	32	27	35	42
	高校生	10	10	19	17	27
	不明	2	3	1	5	0

※()内は非該当件数。

<国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会会議>

①代表者会議 年1回開催(令和5年5月17日)

②実務者会議 年3回開催(令和6年5月24日・11月11日・令和7年2月5日)

③個別ケース会議 22回実施

<児童虐待等の早期発見及び支援のための市内公立小中学校・認可保育園他との連絡会等>

①公立小中学校 11校 計22回実施

②認可保育所・幼稚園等 計42回実施

<新規採用教員向け研修>

国立市教育委員会主催の初任者研修において、児童虐待の早期発見・予防のための研修を実施。

実施日：令和6年5月13日

参加者：25名

<認可保育所保育士・幼稚園教諭、児童館・学童保育所職員向け研修>

早期の段階からの児童虐待防止の視点を養うための研修会を開催。令和6年度は、同日で、①認可保育園保育士・幼稚園教諭向けと②児童館職員・学童保育所向けの2回に分けて実施した

実施日：令和7年2月25日 ①午前10時から午前11時30分 ②午後1時30分～午後3時

テーマ：「虐待？に気づいたときの対応（子ども・保護者・関係機関との関わり）」

講師：青木 幸子（社会福祉法人子どもの虐待防止センター）

参加者：①27人 ②19人

<国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会主催講演会>

開催日：令和6年11月17日

テーマ：「ひとりにしない、だれでもできる～第三者介入ワークショップ～」

場所：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

講師：染谷 明日香氏（NPO法人ピルコン代表理事）

参加者：29人

<ヤングケアラー講演会>

開催日：①関係機関向け：令和7年2月25日 ②市民向け：令和7年3月1日

テーマ：「大人になったヤングケアラー 本当に聴きたかった声」

場所：①くにたち市民総合体育館 ②くにたち未来共創拠点矢川プラス

講師：阿久津 美栄子氏（NPO法人UPTREE代表理事）及びゲストスピーカー（ヤングケアラー経験者。3月1日のみ登壇）

参加者：①14人 ②7人

<ママのリラックスタイム「ママリラ」>

子どもにイライラしたり、母自身や家族に困難を抱え、子育てに悩む母親を支援するためのグループ、MCG（Mother and child Group）を実施。

講師：広岡 智子（子どもの虐待防止センター相談員）

開催月	5月28日	7月30日	9月24日	11月26日	1月28日	3月25日	合計
参加人数（人）	2	4	3	3	3	3	18

<CAP（Child Assault Prevention子どもへの暴力防止プログラム）子どもワークショップ>

児童虐待の予防と早期発見を図るため、学童保育所に通う児童を対象にCAPかわさきのスタッフを講師として実施。

開催日	場所	対象学年	参加者
令和6年8月23日	北学童保育所	小学2年生	23人
令和6年8月23日	南学童保育所	小学3～4年生	28人
令和6年8月26日	本町学童保育所	小学3年生	21人
令和6年8月26日	本町学童保育所	小学4～6年生	34人

<四者協（児童委員・児童相談所・学校・子ども家庭支援センター）主催による地区連絡協議会>

実施日：令和6年10月4日

テーマ：「子どもの貧困に気づいたら：つなぐ・つながる地域連携」

講師：小田川 華子氏（東京都立大学人文科学研究科非常勤講師）

＜乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の緊急把握の実施＞

厚生労働省が全都道府県に依頼している乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の状況把握の調査。本市においても毎年調査し、他部署から情報提供等を受けて、小学校修了前の全児童の所在が確認されている。

＜児童虐待防止推進月間（１１月）の取組＞

啓発活動の一環として、令和５年度は下記の取組を実施。

- ①Wリボン（児童虐待防止のオレンジリボンと女性に対する暴力をなくす運動のパープルリボン）に関するパネル展示を、旧国立駅舎、福祉会館、本庁ロビー、また市民まつりで実施。旧駅舎ではメッセージを募集。
- ②旧国立駅舎を２つの運動を象徴する色であるオレンジ色と紫色に、日替わりでライトアップ。
- ③市報くにたち（令和６年１１月５日号）に児童虐待とDV防止に関する記事を掲載。
- ④国立駅南口周辺で駅頭キャンペーンを実施（11月16日）。

＜児童虐待防止印刷物の作成＞

児童虐待防止の普及啓発を目的としたチラシを市内公立小・中学校・保育園・幼稚園を通じて保護者に配布。

（10） 養育家庭制度の普及・啓発事業

立川児童相談所との共催で実施している、養育家庭制度（ほっとファミリー）の普及・啓発と新規養育家庭の開拓を行うための事業。社会的養護の担い手としての養育家庭を身近な存在と認識する機会として、地域住民を対象に養育家庭の生の声を聴く養育家庭体験発表会を開催。

開催日：令和６年１１月３０日

場 所：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

内 容：養育家庭制度について、里親の体験発表、映画上映

参加者：３１人

（11） 子ども家庭支援センター運営協議会

子ども家庭支援センターの運営その他必要な事項を協議するために設置。

委員構成：学識経験者２名、主任児童委員（又は民生児童委員）１名、立川児童相談所職員１名、市内の子どもに関する団体の関係者１名、小学校児童の保護者１名、中学校生徒の保護者１名、幼稚園及び保育所の園児の保護者１名、子育て中の市民２名、計１０名

任期（第１１期）：令和６年４月１日～令和８年３月３１日

第１１期の会議開催実績：第１回 令和６年７月１０日

第２回 令和６年１１月２８日

第３回 令和７年２月３日

（12） 地域子育て支援拠点事業（委託先：NP0法人くにたち農園の会「つちのこひろば」）

市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的に実施する事業。

＜事業運営＞

- ①事業名 つちのこひろば
- ②委託先 特定非営利活動法人くにたち農園の会
- ③実施場所 国立市谷保５１１９（やばろじ内）
- ④実施日時 毎週月曜日 午前１０時～午後３時 毎週木・金・土曜日 午前１０時～午後４時

＜親子の居場所事業＞

- ①実施日数 １９０日
- ②延べ利用者数 ２，９６３人

<子育て相談事業>

(件)

相談の種別	件数
子どもの発達不安について	16
子育てに対する保護者の不安・ストレスについて	16
家庭環境について	12
合計	44

<子育て情報収集・提供事業>

- ①市内外の子育て支援団体や子どもの居場所活動、男女平等参画に関わる市民活動等の配布物を収集し、施設内にコーナーを設け、利用者へ紹介。
- ②毎月のカレンダーを発行し、市内公共施設や市民活動団体、近隣の商店等へ配布。
- ③FacebookとInstagramを連動させ、ひろばのスケジュールや告知情報・活動報告を投稿。

<活動支援・体験型事業>

①定期開催の企画

開催曜日	企画内容	実施回数(回)	参加人数(人)
月曜日	城山であそぼう！(出張ひろば)	29	549
木曜日	やまちゃんの出張かぜのへや(おもちゃひろば)	12	135
	発達おしゃべり会(理学療法士)	6	78
金曜日	まほさんの音さんぽ(音楽遊び)	12	143
	ちえさんのわらべうた(わらべうた)	12	88
	さーやんの遊びのじかん(表現)	11	134
土曜日	医療的ケアっこのじかん	11	50
	わらくらさんがやってくる！(わらべうた)	11	117
	離乳食幼児食講座	12	114
	電車あそびのじかん	12	193
合計		128	1,601

②不定期開催または特別企画

企画内容	実施回数(回)	参加人数(人)
歯育て講座	2	27
臨床心理士のいる日	3	47
おもちゃ作りのじかん	11	119
身体メンテナンス	3	33
ママ部活	4	42
ゆる防災	2	33
プレママプレパパ見学会	5	6
畑びより(土あそび)	9	126
絵本シアター	3	94
そうだんの日	16	1
わらべうたライブ	1	37
出張ひろば 中地域防災センター	1	9
合計	60	574

<出張ひろば事業>

開催曜日	企画内容	実施回数(回)	参加人数(人)
月曜日	・城山で遊ぼう！ 城山の自然と、冒険遊び場の協力を得て遊具設置 ・出張ひろば 中地域防災センター	30	558

<その他事業>

開催日	事業名	参加人数
6月10日、10月7日、12月2日	絵本シアター（絵本を題材にした演劇）	94人

(13) その他

<赤ちゃん・ふらっと整備事業>

「赤ちゃん・ふらっと」とは、小さなお子さんを連れた方が安心してお出かけできるよう整備された、授乳やおむつ替え等ができるスペースの愛称。

公共施設	民間事業所	
・市役所 ・公民館 ・くにたち中央図書館 ・中央児童館 ・西児童館 ・くにたち未来共創拠点矢川プラス	・nonowa国立EAST（北） ・国立ミュージカルスタジオun-even（東） ・足もみKMR（東） ・かふえ カサムシカ（中） ・くにたち夢ファームJikka（西） ・つちのこや（谷保）	・たまりば^{そら}宙（富士見台） ・石電（富士見台） ・生長の家神の国寮（富士見台） ・ライフタイム国立デイサービスセンター（富士見台） ・やほ駅前鍼灸整骨院（富士見台）

（令和7年6月1日現在）

<幼児同乗用自転車貸出事業>

平成27年度に東京国立白うめロータリークラブより寄贈された幼児同乗用自転車を、子育て世帯に貸し出す事業。

令和6年度は延べ3台の返却があり、申し込みがあった4名の市民の中から抽選で延べ3名の市民へ貸し出した。

貸出自転車総数：8台（幼児1人同乗用4台、幼児2人同乗用4台）